



準絶滅危惧種フクロウが自然下で2羽巣立ちを確認

アドベンチャーワールドが取り組む「アドプトフォレスト活動」で生物多様性再生の成果
12月6日（土）開催「第4回竹まつり」で巣箱づくりワークショップを実施



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）が参画する「アドプトフォレスト活動」のフィールドにおいて、大阪府レッドリストで「準絶滅危惧種」に指定されているフクロウ2羽が、2025年6月に自然下で巣立ったことを確認しました。フクロウの自然繁殖成功は、放置竹林の整備を通じた森の再生が、生物多様性の回復につながっていることを示すものです。

アドベンチャーワールドは、この取り組みを未来につなげるため、2025年12月6日（土）開催の「第4回竹まつり」（主催：ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会）にて、フクロウの巣箱づくりワークショップや繁殖環境の整備、アドプトフォレスト活動の紹介展示を通じ、地域とともに進める“参加型の森づくり”をさらに推進してまいります。

〈第4回竹まつりについて〉

日時：2025年12月6日（土）

午前10時00分～午後3時00分

※雨天決行・荒天中止

場所：ゆめみの森N（ゆめみヶ丘事務所裏山）

参加費：無料

〈アドベンチャーワールドブース出展内容〉

1、フクロウの巣箱づくりワークショップ

アドプトフォレスト活動地に設置するフクロウの巣箱づくりの実施

参加費：無料

※制作した巣箱は後日活動地に設置いたします

2、パネル展示

- ・アドプトフォレスト活動
- ・フクロウ繁殖環境整備活動





〈フクロウ自然下の繁殖環境整備活動について〉

岸和田市丘陵地区で行うアドプトフォレスト活動では、放置竹林の一部を伐採して落葉樹林へ移行させることで、多様な生物が暮らせる森づくりを進めています。この竹林整備は、大阪府において準絶滅危惧種に指定されるフクロウの繁殖環境の確保にもつながっており、アドベンチャーワールドによる活動開始以降、2025年6月には2羽のフクロウが自然下で巣立つなど、フクロウの繁殖と生態系の多様性維持の実績が確認されています。

〈フクロウの自然繁殖に至る経緯〉

2022年6月	竹林整備開始
2023年10月	巣箱1基(A)設置
2024年1月	巣箱2基(B、C)設置
2024年3月	巣箱Aにフクロウが1個産卵
2024年4月	巣箱Aの卵消失 巣箱C内部カメラ破損
2024年6月	巣箱Bにアライグマ侵入確認
2024年12月	巣箱Aにフクロウの出入り確認
2025年3月	巣箱Aに数回フクロウ出入り確認
2025年5月	巣箱B内にヒナ2羽確認(体長10cmほど)
2025年6月	フクロウ親、ヒナ含め出入り確認 ヒナ2羽巣立ち確認



〈アドプトフォレスト制度について〉

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120040/midori/midori/g-10-adopt-forest.html#adoptseido>

アドプトフォレスト制度は、大阪府が事業者等と森林所有者との仲人となって、森づくり活動をするための大阪府の制度です。地球温暖化防止や生物多様性確保のため、事業者等の参画により、放置された人工林や竹林など荒廃した森林を広葉樹林化することを目的としています。

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

